

ハイキングの途中で目にする動物は何と言っても昆虫類が多い。しかし、昆虫類にとっては、山開きの頃はまだ少し気温が低いようである。6～7月になると、路傍の草木で翅を休めたり、蜜を吸ったりしている多くの昆虫類をみかけるようになる。山路の緑の乾いた砂地には、アリジゴク（成虫はウスバカゲロウ）があり、腹部を上に入れて休むことからその名のついたシリアゲムシも目につく。山頂までの間でよくみかけるものには、ノシメトンボ・オニヤンマなどのトンボ類や、ジェット機のようにすばしっこいキマダラセセリ・イチモンジセセリ・スジ



ベニシジミ



スジボソヤマキチョウ（雄）



ヒメシジミ